第一東京市立中学校＝東京都立九段中学校＝東京都立九段高等学校　［同窓会誌］

第59号 平成9年7月10日発行

発行人＝菊友会
会長＝前田信治／編集＝広報委員会

〈事務局〉〒102 東京都千代田区九段北1-2-2
グランドメゾン503号
TEL.03-3263-2448／FAX.03-3263-1033

the KiKuYu

菊　友　会　報

TOP NEWS

新会長に中16 前田信治氏就任

さる5月27日の評議委員会において満場の承認を受け、菊友会の新しい会長に中16前田信治氏、副会長に中21鈴木謙一氏、高3田久保忠衛の両氏が就任しました。

この後輩へ会長を順送りしてきた慣例にもとる改革は、理事会における百地会長の後任についての討議から生まれ、大局的な見地から、会長を2万余会員の象徴として性格づけて旧制卒の先輩を迎え、これを緊密に後輩の理事たちが支える形が最善との結論によるものです。実現に当たり、顧問諸氏に諮って人選をお願いし、評議委員会で理事長職新設などにともなう規約改正を承認いただきました。(関連の詳細記事は2ページに掲載、ぜひご一読を。)

菊友会会務報告

平成9年度評議委員会& 新クラス委員歓迎会開催

平成9年度の評議委員会は、5月27日(金)午後6時から日本教育会館内レストラン喜山において各期評議委員、前田信治、百地健の新旧会長、新理事ら、計45氏が出席して行われた。井上誠之助理事長の進行により、前年度の事業決算・監査報告、今年度の事業計画・予算案、新会長の選任、理事長職の新設に伴う規約の一部改正など、それぞれについて満場の承認を得て、とどこおりなく議事を終了した。

ついで7時から開催の新クラス委員歓迎会には、激しい雷雨の中、新入会の高49回クラス委員10君、母校からは新任の三枝隆教頭はじめ4先生、PTAの石井容子会長（高19回）と染谷英雄広報部長が駆けつけ、衣服を拭う間もなく自己紹介、そして「乾杯！」。"父は高17回です"とか将来は？の質問に"ケーキ職人""家業の鍼灸師"といった答えが飛び出して、さぁ快飲快食、老若いり混じっての歓談となった。

百地前会長から、前田新会長にバトンタッチ

■高49回クラス委員（★は評議委員）

1組：新井さゆり・中村亜理
2組：小林将樹・小澤志帆
3組：山岸　連・橋本香織
4組：萩原友和・篠崎華子
5組：高橋玲子・田村美幸
6組：坂本明照・浅川まどか★
7組：金高　貴★・高橋幸子

大会に先がけて行われた評議委員会も大盛況でした。

平成9年版『菊友会名簿』頒布開始、早めにお申込みを

新しい菊友会名簿が完成、頒布を開始しました。B5版 540ページ、中1回からこの春新卒の49回まで、全会員の現況を収録。五十音別索引と職業別索引を付しました。調査カード記入、不明者探索、広告掲載など、編纂にあたってご協力いただいた数多くの方に感謝します。ぜひお早めにご購入のほど、会員の皆さんのお申込みをお待ち申し上げます。なお会員以外のお申込みは固くお断りいたします。

■新名簿の購入申込み方法■

郵便局備付けの振替用紙に、口座番号、東京2－167292、宛先は菊友会名簿委員会、通信欄に名簿購入と記入の上、最寄りの郵便局からご送金ください。　名簿委員会

新年度です！ 維持会費納入をお願いします

毎年お願いしている新年度の維持会費、今年もその季節となりました。菊友会のいろいろな事業やこの会報も維持会費あってのこと。母校や後輩のためにも、年に一度の納入をぜひよろしくお願いいたします。

平成9年度の維持会費も例年通り￥3000です。同封の維持会費用の郵便振替用紙で、最寄りの郵便局窓口からご納入ください。

★高45回～49回は卒業後5年間の免除期間中ですので、会費用の郵便振替用紙は同封してありません。なお、皆様の維持会費がどのように使われているのかは、平成8年度会計報告として3ページに掲載いたしましたので、ぜひご一読を。

菊友会理事会

新会長のもと、新理事会組織でスタート

新年度に入って理事会陣容や会長人事を巡って慎重なる討議を重ねた結果、１ページにご紹介したように新会長が決定。さらに会長を支えるべき理事会の仕事をスムースに行うため、新たに理事長ポストを作り、２枚岩の強固なる組織構成になりました。これにより会員総意の菊友会活動がさらに円滑にとり行われることと、理事一同身の引き締まる思いです。今後とも皆様のご協力とご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

●菊友会理事会

会　　長：**前田信治**(中16)
副 会 長：**鈴木謙一**(中21) **田久保忠衛**(高3)
理 事 長：**井上誠之助**(高7)
副理事長：**宮島　徹**(高7) **根岸洋子**(高7)
総務委員会：**宮島　徹**(高7) **酒井佐和**(高6) **川口昭恵**(高7) **村田清子**(高7)
会計委員会：**片岡和子**(高5) **古川武男**(高7)
企画委員会：**井上　皓**(高7) **井深康夫**(高7) **勝俣友子**(高8) **小川恵亮**(高12)
広報委員会：**劉　志文**(高7) **安藤彰彦**(高8) **岡本芳雄**(高8) **熱田陽子**(高24)
名簿委員会：**根岸洋子**(高7) **喜多一行**(高8) **百々阿弗利**(高8)

人生は楽しく、校友を大切に

前菊友会会長 **百地　健**　(高5)

ちょうど２年前服部嘉夫会長代行から会長職を引き継ぎ、今回前田新会長へ引き継ぎをさせていただきました。

菊友会は新年度を迎えるに当たり、理事会で新しい会長には中学ご卒業の先輩を、逆に執行部は若返りをすることに決まり、今回の新人事となった次第です。

執行部においても規約を一部改定して理事長職を設け、井上誠之助理事長が選出され、向こう３年間高７回、８回生の理事を中心とした理事会運営をお願いすることになりました。今回の理事人選により、幅広い世代の各委員による菊友会諸行事の参加が期待できると思います。２年間をふりかえり、今後とも続けていただきたい事業を４点列挙させていただきます。

①会を活性化する企画の推進で、魅力のある総会作り、夏の至大荘懇親会の開催、卒業25周年記念同期会の応援、秋の校歌祭に在校生を含めての参加等が挙げられます。

②会の運営は会員の維持会費で成り立っています。充実した会報発行や名簿の編纂、諸行事の実施を通じて会のＰＲ活動は重要です。

③会は母校の教職員及びＰＴＡの方々との交流も大切で、母校の記念行事など、諸行事には積極的に参加していただきたいと思います。

④母校がコース制となり、男子30％、女子70％と女子生徒が多くなりました。今後もこの傾向は続くと見られ、女性会員の意見を十分反映した会の運営も必要かと思います。

以上思うことを書かせていただきましたが最後に、皆様のご支援で無事任期を終わらせていただき、本当にありがとうございました。今回退任された理事の方々の労に感謝すると共に、新しい理事の皆様のご活躍を心からお祈り申しあげます。

MESSAGE

会長就任にあたって

前田信治　(中16)

この度、はからずも重責ある菊友会会長にご指令を頂きましたが、長く母校や菊友会にご無沙汰して、同窓会の事情にすっかり疎くなっており、甚だ心もとない次第であります。　菊友会が中学１回生の卒業以来、68年を経た今日まで、何と２万１千人の会員を擁する大所帯に成長したこと、各年次の同期会やクラス会、そして地方菊友会が毎年盛大に開催されており、菊友会本部がその間のタテヨコの連繋をとり、各事業を通じて会の維持をはかっている実態などこの度はじめて認識させて頂きました。

特に理事並びに評議委員の皆さんが、全くのボランティア活動で会の運営にご尽力頂いていることに感銘いたしましたし、母校の横尾校長先生はじめ学校当局の菊友会に対するご期待にも心暖まる思いがいたしました。

幸い、鈴木謙一、田久保忠衛ご両氏に副会長をお願いできることになったのは、心強い限りであり、また、新たに選任された井上誠之助理事長はじめ役員の方々は、少数ながら精鋭揃いで、何かとご苦労とは存じますが、各委員会の運営に一層ご活躍していただけるものと期待しております。最後に、中13回の橋本政雄先輩はじめ顧問の皆様や、百地前会長のご指導、そして会員の皆様のご協力やご支援を切にお願い申し上げます。

事業費平成８年度決算及び９年度予算案

項目		年度	平成８年度（期間平成８年４月１日～平成９年３月３１日） 予算案	実績	差額	平成９年度 予算案
収入		維持会費	8,000,000	9,154,000	△ 1,154,000	8,000,000
		新会員入会金	1,415,000	1,415,000	――	1,440,000
		広告料	3,300,000	3,351,400	△ 51,400	60,000
		名簿売上金	6,200,000	5,766,400	433,600	100,000
		雑収入	500,000	171,706	328,294	200,000
		準備金取り崩し	3,435,000	0	3,435,000	3,500,000
		収入計	22,850,000	19,858,506	2,991,494	13,300,000
支出	事業費	通常事業費	1,000,000	904,531	95,469	800,000
		大会補助費	800,000	522,028	277,972	600,000
		会報作成費	2,200,000	2,315,131	△ 115,131	2,000,000
		会報発送費	4,000,000	4,177,423	△ 177,423	4,200,000
		名簿作成費	8,000,000	6,621,020	1,378,980	――
		名簿整備費	900,000	630,810	269,190	200,000
		会議費	600,000	420,313	179,687	600,000
		小計	17,500,000	15,591,256	1,908,744	8,400,000
	管理費	菊友クラブ維持費	1,350,000	1,337,040	12,960	1,400,000
		事務局運営費	1,200,000	1,057,852	142,148	1,200,000
		事務局人件費	1,500,000	1,223,000	277,000	1,500,000
		手数料	200,000	269,630	△ 69,630	200,000
		小計	4,250,000	3,887,522	362,478	4,300,000
	その他	慶弔費	50,000	20,000	30,000	50,000
		雑費	50,000	37,107	12,893	50,000
		予備費	1,000,000	187,260	812,740	500,000
		小計	1,100,000	244,367	855,633	600,000
		支出計	22,850,000	19,723,145	3,126,855	13,300,000
次期持越金			0	135,361	△ 135,361	0

注）1．広告料の内　2,304,500円未入金
　　2．名簿作製費の内　5,676,523円未払

前田新会長を推薦します

橋本政雄 (中13)

菊友会の会長任期がこの3月で節目を迎えることで、百地会長はじめ理事の方々から時期会長を誰にお願いするかで、私達顧問に相談がありました。菊友会も会員数では2万人以上を擁する大世帯になりましたが、菊友会に対する関心の点では如何でしょうか。年に一度の菊友会大会では参加する会員数は比例して増えてはいませんし、特に市立一中OBの参加数は年々減っています。会費収入に関してもまた然りです。

そこで新体制では、もう一度菊友会への帰属意識を高揚させ、一中OBからの積極的参加を促すためにも、新しい会長はもう一度遡及して適切な人にお願いしようという結論になりました。好都合なことに私は12年ほど前から第一菊友会といって市立一中を卒業されて、現在も実業界で活躍されている、渡辺文夫（中6）、秋田兼三（中8）、那須忠己（中8）の諸先輩を初め多くの同窓の方々を中心とした会の幹事役を仰せつかっている関係で即座にこの人をおいて他に適任者はないと考え、前田信治氏（前田建設相談役）を新会長に推薦申し上げました。前田氏も同じ第一菊友会の幹事役として、常日頃から会の運営に携わっていただいており、その器量と人柄は熟知しております。幸い他の顧問の方々、及び理事の方々の賛意を得まして、5月27日の評議委員会において、新体制のもとで前田新会長誕生の運びとなった次第です。また副会長には鈴木謙一氏（東京会館社長）、田久保忠衛氏（杏林大学教授）にお願いしました。お二人共当初は超多忙ゆえ固辞されたのですが趣旨をご理解いただき、新会長を側面からサポートすることで承諾をいただきました。

新制度に伴う新会長、副会長のもとで、井上理事長を中心とする新しい執行部が一体となり菊友会が21世紀に向けて益々発展していくことを祈ります。

卒業生全員のための菊友会めざして

菊友会理事長 井上誠之助 (高7)

母校も一昨年創立70周年、至大荘も今年で開設70周年と、その歴史を綿々と重ねております。そして我が菊友会も昭和4年卒業の中学1回生に始まり、今年卒業した高校49回生まで、延べ2万1千人の大世帯となりました。長い歴史の中でその伝統と意識がどこまで継承され、生かされているのか、我々後輩として、或いは先輩としてその責務を痛感する次第です。理事として6年、様々な先輩よりご指導いただき、共に悩み、共に試行錯誤の結果、今回新しい形で菊友会を運営する運びとなりました。若い頃の不勉強が祟り、甚だ未熟者ですが、今後とも皆様のよりよきアドバイスをいただき精一杯努力する覚悟でおります。菊友会は会員全員のための会であることを忘れず、理事一同頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

歓迎！高49回生

九段高校を卒業して思うこと

新評議委員 金高 貴 (高49)

今、九段高校での生活を振り返ってみるといつも何かに一体育祭なら体育祭に、九段祭なら九段祭に一向かって一生懸命だったような気がします。最も勉強の方は赤点をとるまいと必死でしたが……。

九段高校で3年間を過ごしてきて、一番印象に残っているのは、3年の時の体育祭です。ですからここでは体育祭について書きたいと思います。何故体育祭なのか。至大荘や九段祭、寒稽古、クロスカントリーやダンスフェスティバル等、他にも心に残る行事があるじゃないかとおっしゃる方もいるとは思いますが、自分にとって体育祭はそれらとは全く別モノなのです。全てを自分達の手で創り上げていくこと。1年から3年まで全生徒が一緒になって勝利をめざすこと。この2つが他の行事と異なる点であり自分の中で体育祭を特別なものに変えているのです。体育祭は結果よりもそれを創り上げていく過程が大事だと思います。全学年が初めてそれぞれの団に分かれてから体育祭の前日まで充実した練習時間を過ごせたなら、たとえ当日最下位だったとしても、いい体育祭だったと感動できるはずです。3年生は後輩達に素晴らしい体育祭を経験させる義務があると思います。そうすれば次の年も後輩達が素晴らしい体育祭を作ってくれるでしょう。僕たちの体育祭は各団の団長や4役責任者、体育祭実行委員、そして自分達に最後までついてきてくれた後輩達のおかげで大成功に終わったと確信しています。だからこそ今後も九段生らしさを失わない体育祭であることを期待しています。菊友会の先輩達もそう思いませんか？菊友会員になって間もないので、つい現役時代の話になってしまいましたが、あの素晴らしい高校時代の延長線上に菊友会という組織があることを誇りに思っています。

5月27日の評議委員会であいさつする49回生たち

大小宴会　喜慶酒席

北京烤鴨
羊肉涮鍋

北京飯店

店主 劉 志 文 （高7回）

東京都港区新橋4－4－7（赤煉瓦通り）☎3431－7651代表

INFOMATION〈菊友会主催行事〉

年に一度の集い＝菊友会大会 同期と誘い合って参加しよう！

平成9年度の菊友会大会を下記により開催いたします。菊友会の使命である会員同志の親睦は、毎年行われるこの菊友会大会がメインになります。多くの先輩、後輩と出会えるチャンスでもあり、また、同期同志の歓談の場としても例年盛り上がりを見せています。ぜひ、同期や先輩、後輩、お誘い合わせの上ご参加ください。ひとりでも多くの会員が集うように、会長はじめ理事一同お待ち申し上げております。なお、今回はプレ大会として宴の前に諸先輩によるパネルディスカッションを行います。パネリストに高2原田和明氏（三和総合研究所）、高3田久保忠衛氏（杏林大学教授）、高7井上皓氏（東京エレクトロン会長）各氏をお迎えし、テーマは「日本の現状と未来」。他では考えられない貴重な討論が展開されることでしょう。どうぞお楽しみに。なお詳細は出席の返信を下さった方々と、年会費を納入された方に事務局よりあらためて通知を差し上げます。

■ 平成9年度菊友会大会 ■

日時：平成9年度10月24日（金）
パネルディスカッション＝16：30～
懇親会＝18：15～
場所：第一ホテル東京4F
プリマヴェーラ
（JR、地下鉄各線新橋駅下車）
会費：中1～高31＝¥10,000
高32～高41＝¥7,000
高42～高49＝¥3,000
★当日会場入口受付にて申し受けます
返信：「ご出席者」のみ同封の専用ハガキにご記入の上、50円切手を貼って8月末までにご投函ください。

■ 菊友会特別企画！■

パネルディスカッション
テーマ：『日本の現状と未来』
パネリスト：原田和明氏（高2）
田久保忠衛氏（高3）
井上　皓氏（高7）

菊友会だからこそ実現できる豪華メンバーが、鋭く時代を分析する貴重な講演です。ぜひふるってご参加ください。

至大荘懇親会 守谷の海が君を呼んでいる！

会員全てが共有する思い出の地、至大荘で夏のひととき、おおいに楽しみませんか。今年の菊友会主催至大荘懇親会は8月30～31日に行います。家族同伴でもかまいません。もちろん同期と誘いあっての参加は大歓迎。あの守谷の海を眺めながら、70周年を迎えた至大荘で、思い出話に花を咲かせましょう。

■至大荘懇親会日程

日時：8月30日（土）～31日（日）
現地集合＝30日午後5時までに入荘
現地解散＝31日午後2時までに退荘
場所：至大荘（まず集義寮へ集合）
ＪＲ外房線・上総興津駅から徒歩かタクシーを利用。

[至大荘特別講演]（31日朝）
『生きる構えを身につける』
講師：米津千之氏（中2）
（元学芸大学教授・現東横学園短期大学教授）

★マイカーの方は申込時にその旨を
会費：お一人¥9,000(交通費自弁)
30日宴会・宿泊・31日ブランチを含み当日入荘時に申し受けます。
お申込：菊友会至大荘懇親会係宛、ハガキ（〒102 千代田区九段北1-1-2-503)か、ＦＡＸ.03-3263-1033で『氏名・卒業期・住所・電話』を明記の上、8月6日までにお申込ください。お申込の方々には、追って当日の詳細をお知らせいたします。至大荘懇親会係

菊友会支援行事

■ 東京校歌祭 声高らかに歌おう、母校を！

今年で第5回目を迎え、本校も中21本浄暢久氏の肝入りで第1回より参加、高12小川敬亮氏と音学部OBのマルシュナー合唱団を中心に、当日来場のＯＢと共に校歌、至大荘歌をアカ抜けたスタイルで歌っています。参加校は市立1～3中、府立1～14中、府立1～3商、農林私立3校とバラエティー豊か。ちなみに、前東京都知事の鈴木俊一氏（府立2中）も常連のひとり。毎回テレビ、新聞社などの取材も多く、各校共張り切っています。

今年も、現役、ＯＢ、ＯＧ、のふるってのご参加を！　母校のＰＲのためにも、九段の森ならぬ日比谷の森に響くか如く、おおいに歌おうではありませんか。

■ 校歌祭日程

日時：9月20日（土）
午後1時開会
場所：日比谷公会堂（入場無料）
★なお九段高校は2時50分前後に出場予定なので、2時30分までには現地に参集ください。

校歌祭担当
小川敬亮(03-3441-0361)

■ 第15回関西菊友会総会 関西在住の菊友会員はこぞって集まろう！

今秋、第15回関西菊友会総会を以下の要領で開催いたします。5月のゴルフコンペ以来の集まりとなる方も、そうでない方も、関西在住の菊友会会員は、ぜひご参加を。幹事一同皆様の元気なお顔が揃うのを楽しみにしております。

■関西菊友会総会

日時：10月25日（土）午後2時～5時
場所：大阪会館新館「スカイパル大阪」
連絡先：
中村正治（高13）0720-46-7824
酒井美智子（高11）0727-58-0330

■ 高11回同期会 記念の年ではないけれど同期会を開催します

高11回生（昭和34年卒）の同期会を開催しますので、お誘い合わせの上ご参加ください。詳細は追ってご連絡します。

■高11回同期会

日時：10月11日（土）午後6時～
場所：京王プラザホテル
会費：¥10,000
連絡先：幹事＝紙田 誠
0427-32-9292

■ 高25回生諸君へ 来年は卒業25周年、ぜひ記念同期会を！

高25回生は来年で卒業25周年を迎えます。菊友会では、記念同期会を支援事業として、お祝金はもちろん、開催のノウハウや名簿の提供などを行っています。まずはクラス幹事さん集合。我れと思われん方は事務局までご連絡を。

■ 高23回生へ 25＋1周年同期会を開催しましょう！

本来は昨年25周年だった高23回生の皆さん、今年こそ1年遅れではありますが記念同期会を開きましょう。菊友会も応援しています。

■ 全菊友会員へ 同期会の日程は早めに連絡して会報でアピールしょう！

菊友会報は会員相互の連絡版でもあります。同期会を企画されたら、ぜひご一報を。紙面にて、ご案内させていただきます。事務局では名簿管理を行っていますから、行方不明者の割り出しでもお役に立てるのでは。とにかく、この紙面をおおいに活用してください。ただし、原稿はできるだけ早めに。次回は10月末が締切りですので、くれぐれもよろしく。

広報委員会

至大荘70周年記念祝賀宴開催
菊友会メンバーも多数参加

去る6月28日、東京都立九段高校、ＰＴＡ、社団法人九段、菊友会の共催による、至大荘70周年記念の祝賀宴が、至大荘養気閣に於いて盛大にとり行われた。当日は気の早い台風の接近で、守谷の海は荒れ模様であったが、そんな悪天候にもかかわらず130名余りの方々が集まり、この記念すべき1日を共に祝福し合った。　守谷湾を望むこの地に、至大荘を構えて70年、その間地元の方々をはじめ、多くの人々に温かく見守られ続けて今日に至っている、至大荘。建物は歳月と共に新しく生まれ変わっても、あのトンネルや正門前の広場から望む芙蓉浦の景色は変わっていない。菊友会員の誰もが胸に刻むあの懐かしい青春の夏。この宴は、それを支え続けてくださった地元の方々や恩師の先生方に感謝し、今後の益々の発展を願う意味も込められてとり行われた。

横尾校長先生のあいさつに続いて法人九段の金子博隆氏よりの事業報告があり、長く借地であった観海亭の土地を購入、これで至大荘の全容が法人九段のものとなった由。また台風によって崩れた芙蓉浦の擁壁工事着工など、細かな報告がなされた。我が菊友会からは、森京介氏（中15）〈白日会準会員〉の作品を寄贈した。この作品は至大荘正門あたりから芙蓉浦を臨んだもので、まさにこの式典にぴったりの贈り物。さらにお世話になった地元の方々への感謝状贈呈、鏡割り乾杯と続き、宴はいよいよ歓談へ。スピーチあり、歌ありで、お酒の力もあってか、皆一同にハイテンション。どのテーブルも話の花が咲き、あっという間に予定の3時間が過ぎた。帰宅組以外は引き続き2次会へ突入。守谷の海辺は台風を吹き飛ばすかのようににぎやかであった。

記／広報委員会

井上理事長より森京介氏の絵画が横尾校長に手渡された

誰もがなつかしいあの芙蓉浦です

体育祭は永遠なりと
団長が涙の閉会宣言

去る6月8日母校校庭において体育祭が行われ、若さとエネルギーあふれる競技の熱戦が続いた。この日は日曜日ということもあって父母の観戦も多く、現役たちの奮戦ぶりは見事であった。体育祭の伝統は確実に今も続いているようで、最後の団長のあいさつは素晴らしく、涙ながらに成功したことへの全員への感謝の気持ちが語られ、九段体育祭は永遠と言えば、全員がそれに答えて「オーッ！」。やはり生徒が主体の九段スピリッツは健在らしい。ちなみに、当日観戦したある生徒のお母さんは「こんな素晴らしい学校に子供が入って、本当によかった」ともらい泣き。九段の卒業生として聞く耳にとても心地よいひとことだった。

広報委員会A

9月27・28日九段祭です！
たまには母校をのぞいてみては？

今年の九段祭は9月27日（土）、28日（日）です。現役の後輩たちは、もうすでに準備を始めたようで、どんなテーマがとび出すやらとても楽しみ、久しぶりに九段の空気を吸ってみてはいかがですか？

現在の制服です。ちなみにスカートはやや短めにし、ルーズソックスの女生徒が多い！

未来をみつめる目

生活環境の改善から
ハイテク時代に対応した
新技術の開発まで
大成温調は最適な空間づくり
を追求しております。

人の呼吸にもっと優しく
TAISEI ONCHO
大成温調株式会社
代表取締役社長　水谷大介　（高11回）
〒140　東京都品川区大井1丁目47番1号　TEL.03-5742-7301(代)
支店・営業所　青森・八戸・盛岡・仙台・秋田・山形・郡山・いわき・水戸・宇都宮・前橋・太田・大宮・千葉・川崎・横浜・甲府・新潟・長岡・金沢・静岡・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・高松・福岡・長崎・熊本・鹿児島・那覇
技術研究所　〒134　東京都江戸川区東葛西2丁目3番4号　TEL.03-3877-3770
横浜技術センター　〒224　神奈川県横浜市都筑区川向町806　TEL.045-471-1801

●空気調和・給排水衛生設備

The RECEPTION
同期会&クラス会

海外よりの友も参加して 高22回、25＋1周年記念同期会開催

昨年9月21日、高22回生の1年遅れの卒業25周年記念同期会（25＋1周年）が母校にも程近い飯田橋のホテルエドモンドで開催された。台風接近が危ぶまれる中、恩師14名の招待者の内7名を含む、総勢110余名の参加者があり、すばらしい料理の数々に目もくれず歓談に夢中であっという間に予定の3時間が過ぎ、話の尽きない面々は二次会へと散会した。

来賓として百地菊友会会長が挨拶に立たれ、菊友会の25周年同期会助成事業のことや学校の現況等についてお話を伺い、我々の卒業当時と男女比が逆転していることなどに皆驚いた。今回の同期会開催に当たっては2組の東君が事務局を引き受けて、会場の設定から様々な事務処理をやってくれ、各クラス幹事が整備した名簿を集めてデーターベースを作成。これは今年発行の菊友会名簿に生かされた。各クラス幹事諸氏ご苦労様でした。次回は4年後の30周年記念かナ。

記／T・S

集まれば皆健男児の中22回生です

恩師を囲んで皆和気あいあい 菊朋会開催 (高3・中22同期会)

昨年11月15日、九段下の九段会館で恒例の同期会を開催した。古賀周作先生、斉藤昉先生、瀬戸規矩夫先生、望月重雄先生の恩師4名にご光来頂き、同期生69名と共に懐かしく楽しい2時間を過ごした。何故か常連の欠席が目立つ年だったが、それをフォローする恰好で久しぶりに顔を見せた仲間が穴埋めして、出席者は例年並みとなった。また、当日お出でになれなかった松本定雄先生からは自著本30冊のご寄贈があり、希望者に配布された。俳優の渥美國泰君は豪華自著本のＰＲを、また、松浦博君は奮起一番のカンパで3万5千円の浄財を集め、会の資金に加えた。今までにないまとまりと盛り上がりのあった会であった。恒例の校歌斉唱は、一段と改良された阿部君のカラオケをバックに大声で歌い上げた。

菊朋会は、従前不定期に開催していたが、4年前「余り間隔をおくと顔が見られなくなってもいけないから 」と言うことで、毎年定期的に開催することにした。幹事も毎回交代していたが、経験者が増えて人選に苦労し、不肖私が選ばれたのを機会に、会場の了承を得て、当分の間幹事を続けることになった。なお、今年の菊朋会は11月14日(金)に九段会館で開催する。

記／芦葉能夫（高3）

恒例の集いをこの春も開催 高13回懇親会

毎春の4月第2土曜日は高13回の懇親会の日。今年は靖国神社近くのレストラン「アクトレス」で行い、20数名が集まりましたた。同期会は5年毎にあり、その間の“つなぎ”としてこの集まりがあるのですが、1年ぶりに元気な笑顔に再会できるのはとても嬉しいことです。我等も歳だけはれっきとした中年族。が、しかし35年余りも昔の話がすぐ通じてくれる仲間は、まさに貴重な存在です。親の介護の話、孫の話、そろそろ定年後の話もチラホラ。

帰りは、未だ散り残っていてくれた靖国神社の八重桜の下、缶ビールに焼きとりで乾杯！　来年も同じ4月の第2土曜日、同じ場所で行います。3組さん、次の当番よろしく。高田先生もぜひお健やかで。では、また桜咲く頃、元気でお会いしましょう。

記／深堀博義

毎月開催しよう！の声もある？ 中13B組クラス会

昨年10月26日、1996年下期のクラス会を開催した。今回も19名が新橋北京飯店に集った。お互いの健康に感謝し、半年ぶりの再会を楽しんだ。僅か6か月のブランクでも話題は尽きない。

一昨年亡くなられた故浜宮太郎先生が戦時中母校で諸先生の中心的存在として校舎を火災から護るために頑張っておられたお姿について、当時軍服姿で、戦地へ赴任するためお別れのご挨拶に訪れたM君の思い出話に、先生の知られざる一面を伺った。また、痴呆防止の課題は夫婦揃って健康に注意すること。大学のオープンカレッジなどで専門外の講義を受けること。海外旅行やボランティア活動に参加すること。など絶えず好奇心を燃やして行動すること。以上が今回の結論であった。

年2回のクラス会を毎月開催しようとの声もあったが、とりあえず年3～4回開催することにした。例によってクラス会の所要時間は3時間半だった。

記／末　博光（中13）

菊友会の中でも特に活発な中13B組の面々

いろいろ元気に活動してます トーク会（高19回）

昭和23・24年生まれの私たちは団塊の世代と呼ばれ、今現在48～49歳の、ちょうど社会・会社である程度の責任ある立場にあり、家庭でも子育てがひと段落というところになって、多少時間的にも余裕が出来てきました。そんなわけで、平成4年12月から岩城悦子さんと青木麗子さんの幹事で始まったトーク会ゴルフは以来途切れることなく開催されています。また、第2回からは数学の浅見豊治先生も参加いただき、お元気なところを拝見すると私たちも元気に頑張ろうと思ってしまいます。高1回の溝田弘先輩も第3回から連続参加いただいています。昨年12月8日には越生ゴルフクラブにて第6回トーク会ゴルフを開催。浅見先生、溝田先輩はじめ12名が冬晴れの中楽しくプレーしました。新ペリア方式で18ホールを全員無事に廻り、優勝は福岡英寿君、準優勝とベスグロは住吉秋次君でした。ちなみに全員の平均スコアは102。

第7回は4月13日に千葉県の丸の内倶楽部にて開催。春風はありましたが快晴の中11名が参加しました。今回は過去6回の成績を基に、初めてハンデ戦にて行いました。青木麗子さんが女子で初優勝し、ハワイ在住でこの日のために帰国したシングルハンデの松本英一君が準優勝とベスグロ、平均スコアは104でした。この秋冬には第8回目を開催したいと思っていますので、参加希望のある方はご連絡ください。また、浅見先生が得意でコーチもしていただけるテニスも10月18日(土)か19日(日)に稲城の尽性園にて行う予定ですので、こちらの参加希望の方もご連絡を。夫婦、お子様連れ参加も大歓迎です。

記／角野士朗（高19）

■連絡先：青木麗子 03-3484-8128
角野士朗 045-542-9216

ふたを開ければ201名！の大集団

高24回卒業25周年記念同期会

去る5月31日、新橋の第一ホテル東京にて高24回の25周年記念同期会を開催しました。昨年10月に幹事団を結成（というほど大げさなものではありませんが）、以来毎月集まっては協議を重ね、名簿の整備、式場手配などに追われつつ、最大の関心事は何人くらい集まるかということ。目標は150名ぐらいのつもりが、当日は来賓も含めて201名も参加。幹事一同うれしい悲鳴を上げました。

平塚寛次郎先生、近藤義郎先生、都恒明先生、斉藤光司先生、前田薫先生、片瓜仲夫先生、和田清先生、三上修先生の8先生方と菊友会理事長の井上誠之助先輩（高7）、第一ホテル東京会長の秋田兼三先輩（中8）と同期生192名の大集団は、大西英敏君の開会の辞から2時間余り、興奮と熱気の渦の中で自然大声になり、先生方や先輩のスピーチも聞きとりにくい始末。掲示した卒業アルバムの写真の拡大コピーと見比べて、笑ったり驚いたり。スナップ写真のフラッシュもあちこちで光り、石橋義永君の司会進行はひと苦労。それでも校歌斉唱の時だけは、全員がまとまり、在校時に聞いたこともないほど立派に歌い上げ、いよいよ全員の集合写真。最後に竹田純男君の閉会の辞に及んで、やっとみんな静かにしんみり……。それでも名残り尽きない面々は2次会会場へ。

高7回の劉先輩のお店、北京飯店を2次会会場と決めていましたが、これも予想した人数の倍ぐらいに膨れ上がり、さながら満員電車状態。40を過ぎても皆ほんとうにエネルギッシュです。さらに夜更けの新橋界隈に繰り出した面々もあまたいたようで、皆さんほんとうにお疲れ様でした。こんなに大勢の仲間が一同に集うなんて、めったにないことのようで菊友会の先輩たちもびっくりされていました。なお、この日の写真や先生のお言葉を記念誌にまとめて郵送するので、幹事の仕事はまだ続きますが、皆一同にやってよかったと思っています。25回以降の皆さんも、ぜひ同期会を。きっと実りある会になると思います。最後にいろいろな無理を聞いて下さった第一ホテル東京の秋田先輩、北京飯店の劉先輩、お忙しい中かけつけて下さった井上理事長、ほんとうにありがとうございました。

記／熱田陽子

200名ともなると記念撮影も大さわぎ。山脇君（高26）のシャッターはなかなかきれませんでした

清成先生を囲んで歓談
13B会（中15回）

5月20日、ジャパンエナジー六本木クラブにて、清成先生を迎えて13B会を開催した。美味しい会席料理で冷酒を飲みながらの歓談、話題は清成先生ご自身のこととなり「昭和3年熊本中学卒。祖父は南画を書き、父は大正の始めから電気会社のサラリーマン。自宅は熊本近くの御舟という所……」「先生は熊本なまりがないですね」と先生曰く「英語をやっていたから」で一同大笑い。さらにオックスフォードイングリッシュ大辞典の話やキングスイングリッシュの話、やがて福原麟太郎や田中菊夫、九段の安井先生へと話は進む。現在はモンテクリスト伯の英訳本を毎日1章ずつ読んでおられるとか。ちなみに先生は明治44年生まれの86歳。13B会を皮切りに菊友会の各クラス会に参加されるそうです。

記／高野均治

清成先生を囲んで記念撮影

正月卓球大会を母校で開催
菊球会（卓球部OB会）

第43回菊球会正月卓球大会は去る1月12日、九段高校剣道場で行われました。参加者30名。上は中18高田稔氏、下は高49宍戸幸弘君が出場し、卓球部顧問で数学担当の荻野大吾先生も特別参加されました。結果は下記のとおり。

優勝　遠藤俊一（高14）
2位　滝沢国雄（高9）
3位　廣井宗孝（高43）
4位　山岸雄一（高19）

大会終了後、高中低と各年代別に3チーム作り、ダブルスでチーム戦を行いました。歳の差も忘れ、混合ダブルスでは女子選手にハンデを与えて和気あいあい高校時代の試合を思い出し、足をもつれさせながらラケットを振っていました。

その後6時から飯田橋駅近くの酒楽亭で新年会を催し、卓球に自信のない者はこの飲み会だけ参加し、総勢42名。先輩後輩互いに杯を交し、校歌とエールの交換で散会しました。

母校卓球部部員は今年1名が卒業して0人となり、廃部になるという憂き目に。OB会で何とか新入部員を確保しようと思索を練っております。有名選手を輩出した伝統の母校卓球部も、時代と共に消え去るのかと寂しい気持ちです。廃部になってもOB会としては復活させるべく活動していくのが本来の役目です。高17佐藤弘史氏が西麻布の自宅に卓球専用のスポーツクラブを7月にオープンし、卓球台を1台置くことになりましたので、このクラブを菊球会の拠点として今後活動していこうと思っています。記／岩本和也（高5）

若手の参加で
活気づいた懇親会
九演会（演劇部OB会）

毎年行われている九演会の、観劇＆懇親会が去る1月25日に開催された。観劇会は例年通り高19村石かよ子氏の肝入りで、銀座セゾン劇場でロイヤル・シェークスピア・カンパニーによる「夏の夜の夢」。美しい色彩の風船がふわふわと浮かぶ幻想的な舞台構成に、一同ため息。その後の銀座アサヒビアホールにて懇親会では、あちこちでシェークスピア論が飛び出し、往年の演劇青年に戻って、皆目が輝いていた。

今回から九演会の幹事が高39石井克己氏と高41行木孝氏らに若返り、そのためか、若手が数多く参加。今年卒業の面々も加わって、ひさびさ若やいだ会となった。仕事の都合で懇親会のみの参加者も含めて、30余名が参加し、今年は久しぶりに忘年会でもやろうかという話も出て、なごやかに散会。当然その後も何処かに繰り出した面々もいた模様。ところで九演会公演の話、どうなっているんでしょうネ。

記／村上奈美（高24）

子連れの参加者もいてアットホームなムードの九演会

FAIRWAY通信

79会（高7回）ゴルフコンペ

春の79会コンペが4月26日越生ゴルフクラブで開催された。雲ひとつない晴天と爽やかなそよ風という絶好のゴルフ日和に恵まれて、21名の還暦を過ぎたばかりの元ヤングボーイ達が腕を競ったスコアの方は出たとこ勝負でも多数の初参加者（中には卒業以来初めて顔を見せた人も）を迎え、懐かしい話に花を咲かせながら、楽しく、健康的？な一日を過ごすことができた。

次回は11月8日（土）に開催予定。幹事はダブルペリア方式で優勝の斉藤襄一君（045-561-4657）と2位でベスグロに輝いた朝倉弘雄君（03-3941-5682）。参加ご連絡は幹事まで。

記／井上和雄（高7）

関西菊友会 第12回ゴルフコンペ

薫風かおる5月21日、朝方は冷え込みも残ったものの、日中は申し分のない快晴になりました。当日は、常連の中15井上滋先輩が愛知県瀬戸市から、中17玉川顕英先輩が和歌山下津待ちから馳せ参じていただき、紅2点の高5養父明子先輩と高10伊藤比佐代君をまじえて、総勢13名が愛宕原ゴルフ倶楽部に集い、夢中で白球を叩き合いました。 さて、当日の優勝者はG93でN75の養父先輩、準優勝者は中15市毛基之先輩でG91 N76。いつもながら若輩連中の完敗に終わりました。ブービーはG114 N95も叩いた高16綿貫泰望君と決まり、日頃多忙な現役がヤッパリ年の功には適わないことがよくわかった大会でした。

記／杉田健治（高7）

春の菊友ゴルフ会・第24回

通算24回、今年春の菊友ゴルフコンペは5月30日、いつもの東京よみうりGCで行われた。参加24氏（中9～高31）一様に、曇天はもとより降雨もやむなしの覚悟だったが、天地有情、終日陽光に恵まれるラウンドとなった。

なにしろいたずら好きな新々ペリア方式だが、こちらも有情、栄冠は若手世話役陣で一人だけ未優勝だった橘田君に、羨望の大智賞（7位）は盛岡から毎回参加の中17水沼先輩に3度目を授けるという、『日頃』がモノをいう決着となった。

◆上位戦績（新々ペリア方式）

優勝　高31橘田裕介　G105 N71.4
2位　高6上村桂子　G87 N72.6
3位　高31桜井慎吾　G84 N72.8
4位　中16吉田忠男　G99 N73.4
5位　高14佐藤勝彦　G99 N74.2

記／及川俊明（高6）

高4至高会 ゴルフコンペ

6月3日八王子CC、卒業以来の2氏と婦人同伴2組、他期などの8人が加わって、総勢30名8組。予報が外れOh！何という好天、これはもう絶対、高4兄貴連の行いがもたらしたものではない。暑い、昼のビールは今年一番の味、分厚くつのる風さえありがたい。終われば上位は女性独占、毎度々々の名物パターンで至高会を司るのはフェミニストの“男神”なのだろうか？

◆上位戦績

優勝　湖島照子　G105 N69
2位　高19青木麗子　G103 N76
3位　高6上村桂子　G90 N78
BG　上楽博司　85(40・45)

記／及川俊明（高6）

定時&臨時理事会だより

1月

百地会長任期満了に伴い、新会長は中卒の先輩へ委嘱し、中、高協力して菊友会の新展開を計ることを確認（10日）。北京飯店で評議委員、顧問、理事で新年会（24日）。

2月

至大荘70周年行事協賛の確認と、高8回より新理事5名ほど選出を検討。今回より高8回の安藤彰彦、喜多一行両氏出席（7日）。

3月

新名簿完成と広告主への対応、事務局員の給与改定を了承。時期会長の選出は諸先輩の意見を伺うべく顧問会の開催を決定。評議委員会のスケジュール決定（7日）。

4月

組織改定、会長・理事長制度と規約改正の案文作りスタート。高5～6回の理事から高7～8回の理事への執行部委譲を確認。新たに高8勝俣友子氏出席（11日）。顧問と理事たちの意見交換会（25日）。

5月

決算、予算案の審議。維持会費の徴収拡大方策の検討。新会長は中16回の前田信治氏に委嘱することで了承。新たに高8岡本芳雄、高24熱田陽子両氏出席（16日）。新理事長に井上誠之助氏選出。菊友会規約改正と新理事の委員会分担を決める。新理事として高7根岸洋子、村田清子、川口昭恵各氏と高8百々阿弗利氏出席（23日）。

6月

副会長に鈴木誠一、田久保忠衛両氏が決定。至大荘70周年行事への参加、本年度の行事計画案の了承。前田新会長、井上理事長、横尾名誉会長（母校校長）が初会談。今後の相互の一層の協力を確認した（4日）。

★母校も70年の節目を経た今、菊友会もある意味での節目を迎えたようです。菊友会の益々の発展を誰もが思案し、議論した6か月でした。新体制の下、今後の理事会もおおいに活発に論議が繰り返されることでしょう。会員の皆さんも何かご意見がありましたら、どうぞ事務局までご一報を。若い世代のご意見もお待ちしています。

訃報

前号以後に判明した逝去者氏名

中1●手塚義久・栗林敏雄
中2●田中俊次・大西正次
中6●沖武夫・瓜生須
中9●布施求一
中10●賀来隆吉（靖貴）
中12●浅川英雄・須山正恒
中16●山崎進
中18●大塚弘宣・江戸川正太郎・野瀬良治・野村吉雄
中20●吉川一弥
高1●小川正美
高4●岡本光正
高5●櫻井孝
高11●鳥居紀子
高22●大場竜雄
高25●清水和子

編集後記

◆私は、昭和37年に浜口俊平会長の依頼で菊友会報を少々お手伝いし、40年に小田善一会長に召し出されてから今日まで、菊友会報の編集、取材に携わってきました。初めの十数年間は年に一回発行できればよいほうで、宛て名書きも発送も役員らが手弁当で集まり、母校の一室で作業するなど、清貧と奉仕の菊友会でした。

歴代の会長、広報委員長はじめ若手であった私のやる気その気を見守り支えてくれるよき先輩に恵まれ、菊友会馬鹿になり、気がつけば還暦を迎えていました。こんな年齢まで会報をやっていたなんて大間違い、怠慢、もっと早く後継者を見つけるはずでした。

やっと探し当てたのが高24の熱田陽子クンです。会員の皆さん！彼女がいい仕事ができるよう可愛がってください。……退任する私は「ありがとうございました」の言葉あるのみです。無償で写真を提供し続けてくれた高7劉志文氏に深く感謝します。

前広報委員長　及川俊明（高6）

★突然及川先輩が退任されると聞いて、会報もお休みになるのかと思ったら、とんでもない！今までただお手伝いをしていただけの私にお鉢が回ってきてしまい、戸惑うばかり。いくら本業が編集とはいえ、長一い歴史のある菊友会のことはさっぱりわからず、この先どうなることやら。

今ギリギリの締切りに間に合わせるべくこの原稿を書いています。窓の外は明るくなり鳥達が初夏の朝を気持ちよさそうにさえずりながら飛んでいます。こんな朝を及川先輩は今まで何度迎えたことでしょう。ほんとうに、ほんとうにご苦労さまでした。　熱田陽子（高24）